

昭和63年度
松本歯科大学学会総会記録

昭和63年度総会は6月18日(土)午後1時より、201教室において下記の次第により開催された。

総会次第

- 1. 開会の辞 加藤倉三学会長
- 1. 議長選出
- 1. 報告
 - 庶務 笠原 浩幹事
 - 集会 前橋 浩幹事
 - 編集 野村浩道幹事
- 1. 議事
 - (1) 昭和62年度決算報告 恩田千爾幹事
監査報告 橋本京一監事
川原一祐監事
 - (2) 昭和63年度予算案 恩田千爾幹事
 - (3) 役員の改選
 - (4) その他
- 1. 閉会の辞 千野武廣副会長
(司会 原田 実幹事)

加藤学会長より総会出席者ならびに準備にたずさわった人々への謝辞が述べられた。

その後、議長に、市川博保会員が選出され総会が行なわれた。

議事

- 1. 昭和62年度決算および昭和63年度予算が承認された。
- 2. 役員改選
昭和63、64年度は前年度役員留任が決定した。

庶務報告

会員数

- 正会員 1979名
- 準会員 132名(第12期生)
- 賛助会員 24社

会合

- 庶務幹事会 4月13日(金)
- 全体幹事会 6月8日(土)

1. 新評議員の委嘱

笠原悦男助教授、北村 豊助教授

中村千仁元助教授(学外)

- 2. 第26回学会(例会)の開催予定日
昭和63年11月12日(第2土曜日)
- 3. 新会員(第11期生)125名の入会
- 4. 松本歯学の英文論文には和文抄録を記載する。

以上の内容が了承された。

なお会費未納者が多いため、未納者の退会を考慮する。

卒業生の評議員を考慮する意見が提出された。

評議員会 6月18日(土)

- 1. 役員改選は前役員に引続き全員留任が決定した。

役員ならびに評議員

役員

- 学会長 加藤倉三 顧問 矢ヶ崎 康
- 副学会長 千野武廣, 枝 重夫
- 庶務幹事 橋口緯徳, 原田 実, 広瀬伊佐夫
今西孝博, 笠原 浩, 鈴木和夫
- 会計幹事 出口敏雄, 恩田千爾
- 編集幹事 甘利光治, 枝 重夫, 近藤 武
野村浩道, 高橋重雄, 山岡 稔
安田英一, 丸山 清
- 集会幹事 前橋 浩, 中村 武, 太田紀雄
徳植 進
- 監 事 橋本京一, 川原一祐

学内評議員

- 甘利光治 近藤 武 山岡 稔
- 千野武廣 前橋 浩 深沢勝彦
- 出口敏雄 丸山 清 藤村節夫
- 枝 重夫 中村 武 伊藤充雄
- 橋口緯徳 野村浩道 笠原 香
- 橋本京一 恩田千爾 川上敏行
- 原田 実 太田紀雄 宮沢裕夫
- 広瀬伊佐夫 鈴木和夫 長内 剛
- 今西孝博 高橋重雄 鷹股哲也
- 笠原 浩 徳植 進 渡辺達夫
- 加藤倉三 矢ヶ崎康 笠原悦男
- 川原一祐 安田英一 北村 豊

学外評議員

- 石橋威郎 安藤三男 北村実雄
- 鹿毛俊孝 橋本 脩 神津 瑛
- 亀山喜光 都筑新太郎 北村博文

- 小松正隆 細川安徳 丸山 弘
 待田順治 池上英雄 西田康彦
 中後忠男 石塚嗣郎 桜井善忠
 丹羽敏勝 市川明彦 外村 誠
 鈴木 隆 市川博保 渡辺郁馬
 佐藤勝也 片倉恵男 中村千仁
2. 小田切和雄氏(推薦者 橋本京一教授)の入会が承認された。
3. 特別講演の抄録(2400字)を掲載する。
4. 交換図書(松本歯学)国内128件
 国外 7件
5. 日本科学技術情報センター情報部より(1987年10月1日~1988年3月31日)
 松本歯学に関するJICST英文データベース「許諾抄録」使用状況の報告があった。
 12件(Vol.13 1, 2号)
6. ワープロNewキャノワード400を購入した。会計担当の恩田幹事の所で会計の処理に使用する。
7. 学術関係の事業に対し協賛のかたちで予算を有効に利用する意見が提出された。
8. 名簿の作成希望が提出された。

集会報告

第25回松本歯科大学学会(例会)は昭和62年11月14日(土), 12時55分より本学講義館201および202教室において開催された。演題数は29題で15時20

分に終了した。会場当番は口腔細菌学講座および歯科矯正学講座であった。

第26回松本歯科大学学会(総会)は昭和63年6月18日(土), 10時30分より本学講義館201および202教室にて開催された。特別講演は歯科保存学第1講座太田紀雄教授によって「歯周疾患の診査と診断について——特に歯周ポケットをどうするか——」と題して行われた。総会は13時より201教室にて開催された。一般講演は13時55分から行われ、演題数は28題, 16時20分に終了した。会場当番は歯科理工学, 口腔診断学・口腔外科, 歯科麻酔学および歯科放射線学の4講座であった。

編集報告

昨年度の総会以降, 松本歯学は第13巻2号と3号および第14巻1号の3冊が発行された。第13巻2号は, 総説1篇, 原著4篇, 臨床2篇, 図説2篇, 文献紹介1篇, 計10篇が掲載され88頁, 第13巻3号は, 総説1篇, 原著7篇, 臨床2篇, 古典紹介1篇, 図説2篇, 計13篇が掲載され142頁であった。第13巻の総頁は420頁で, 第12巻の436頁より若干少なかった。

第14巻1号は, 総説1篇, 原著5篇, 臨床4篇, 図説2篇, 計12篇が掲載され138頁であった。現在第14巻2号の原稿募集中である。

第13巻2号より, 図説という分類項目を設けた。内容は, 珍しい学術的写真で教育的効果のあるものを, 解説付で1~2頁で掲載するものである。

○次年度繰越支払資金内訳

| | |
|------|-------------|
| 普通預金 | 4,493,807円 |
| 定期預金 | 17,082,460円 |
| 手持現金 | 28,924円 |

| | |
|---|-------------|
| 計 | 21,605,191円 |
|---|-------------|

○前受金内訳

| | | |
|------|-----------|-----------------------|
| 正会員 | 昭和63年度分 | 70,000円(3,500円×20名) |
| 同 | 同 | 8,100円(3名分過納額) |
| 同 | 昭和64年度以後分 | 35,000円(3,500円×10口) |
| 10期生 | 昭和63年度分 | 448,000円(3,500円×128名) |

| | |
|---|----------|
| 計 | 561,100円 |
|---|----------|

昭和62年度決算及び昭和63年度予算書

| | 昭和62年4月1日より昭和63年3月31日まで | | | | 昭和63年度予算 |
|------|-------------------------|----------------|-------------|-----------|-------------|
| | 科目 | 予算 | 決算 | 差額 | (案) |
| 収入の部 | 入会金収入 | 210,000円 | 195,000円 | 16,500円 | 210,000円 |
| | 会費収入 | 6,779,500 | 7,499,000 | △ 717,500 | 7,213,500 |
| | 論文掲載料収入 | 100,000 | 0 | 100,000 | 0 |
| | 広告掲載料収入 | 850,000 | 960,000 | △ 110,000 | 900,000 |
| | 受取利息収入 | 610,000 | 741,473 | △ 131,473 | 800,000 |
| | 大学補助金収入 | 1,000,000 | 1,000,000 | 0 | 1,000,000 |
| | 雑収入 | 2,000 | 37,000 | 35,000 | 10,000 |
| | 前受金収入 | 1,400,000 | 561,100 | 838,900 | 1,000,000 |
| | 前期末未収入金 | 5,503,000 | 5,503,000 | 0 | 7,377,000 |
| | 期末未収入金 | △ 3,500,000 | △ 7,380,500 | 3,880,500 | △ 7,000,000 |
| | 前期末前受金 | △ 514,500 | △ 514,500 | 0 | △ 561,100 |
| | 小計 | 12,440,000 | 8,601,573 | 3,838,427 | 10,949,400 |
| | 前年度繰越支払資金 | 21,621,458 | 21,621,458 | 0 | 21,605,191 |
| | 合計 | 34,061,458 | 30,223,031 | 3,838,427 | 32,554,591 |
| 支出の部 | 人件費支出 | 2,000,000 | 0 | 2,000,000 | 2,000,000 |
| | 消耗品費支出 | 50,000 | 24,280 | 25,720 | 50,000 |
| | 通信費支出 | 1,400,000 | 1,301,400 | 98,600 | 1,500,000 |
| | 会議費支出 | 100,000 | 30,000 | 70,000 | 100,000 |
| | 印刷費支出 | 6,700,000 | 6,562,960 | 137,040 | 7,000,000 |
| | 旅費・交通費支出 | 100,000 | 100,000 | 0 | 100,000 |
| | 雑費支出 | 50,000 | 18,200 | 41,800 | 50,000 |
| | 備品費支出 | 600,000 | 581,000 | 19,000 | 100,000 |
| | [予備費]注1 | (500,000) 0 | | 0 | 500,000 |
| | 小計 | 11,000,000 | 8,617,840 | 2,382,160 | 11,400,000 |
| | 次年度繰越支払資金 | 23,061,458 | 21,605,191 | 1,456,267 | 21,154,591 |
| | 合計 | 34,061,458 | 30,223,031 | 3,838,427 | 32,554,591 |

注1 予備費からの振替高
備品費支出 500,000円

○会費収入内訳

正会員 6,489,000円(3,500円×1,854名)
準会員 250,000円(2,000円×125名)
賛助会員 760,000円(10,000円×76口)

計 7,499,000円

○未収入金内訳

正会員 6,832,000円(3,500円×1,952名)
準会員 437,500円
(入会金 187,500円(1,500円×125名)
準会員費 250,000円(2,000円×125名))
賛助会員 30,000円(10,000円×3口)
広告掲載料 81,000円

計 7,380,500円